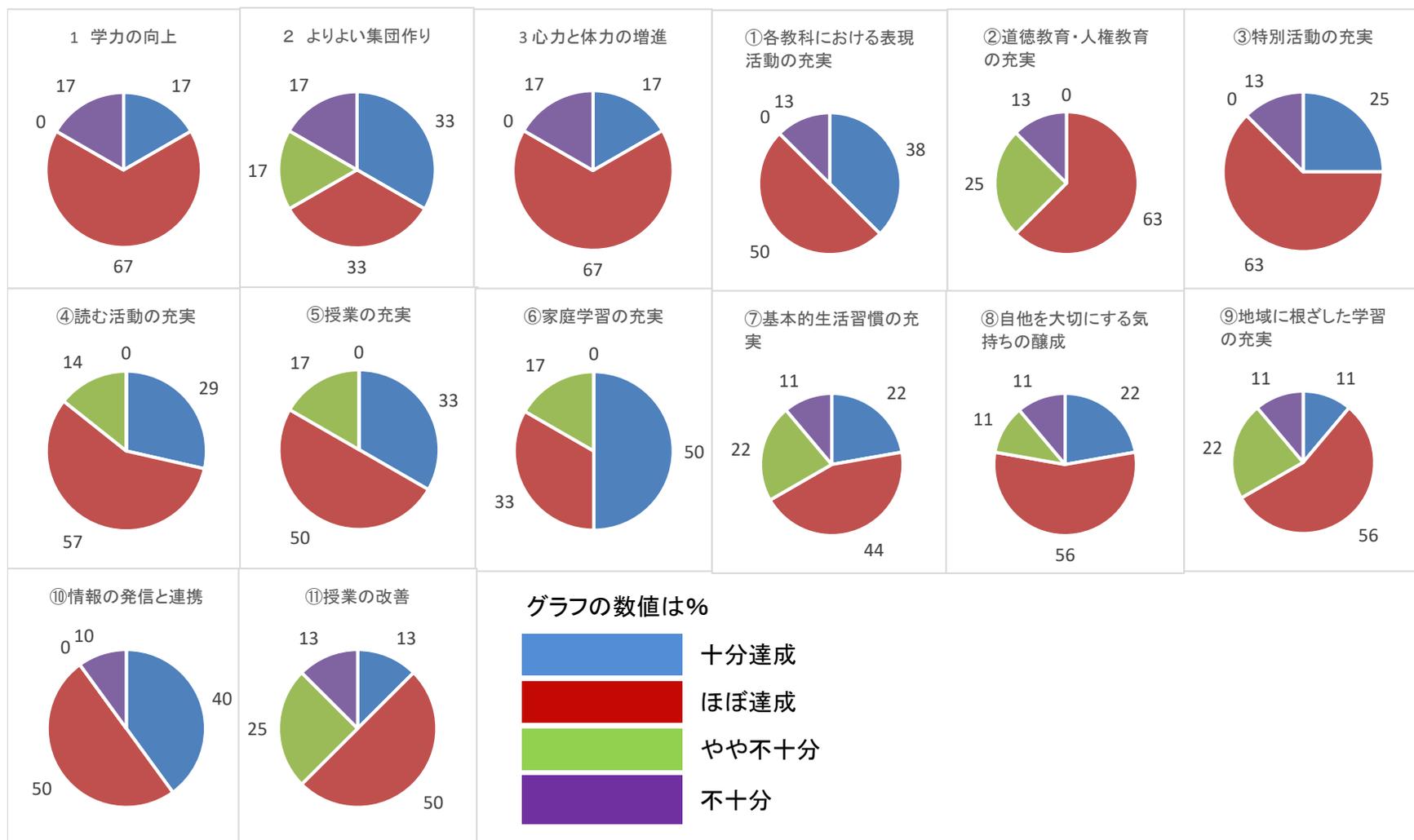


H7 学校評価(職員)



| 項目              | 成果と課題・向上策   |
|-----------------|---|
| 1 学力の向上         | <ul style="list-style-type: none"> <li>・クラスでテストなど行い漢字については1学期より2学期の方が点が伸びた。</li> <li>・聞くことの指導から受けとめがよくなってきた。子ども同士で考えを伝え合うことで理解を深められた。他者の考えを聞くことに重点を置いて指導できた。</li> <li>・導入でどのように表現したいかを考える時間をとった。</li> <li>・ICTの効果的な活用を推進していく。</li> </ul>                      |
| 2 よりよい集団作り      | <ul style="list-style-type: none"> <li>・友だち同士の関係づくりを大切にし、何かトラブルがあれば、すぐに解決するように話を聞いた。</li> <li>・<u>授業の中で、ペア学習、グループ学習の形態で行うことを多くした。さらに続けたい。</u></li> </ul>  |
| 3 心力と体力の増進      | <ul style="list-style-type: none"> <li>・全校体育、毎日の朝の身体みがき体操をつづけてきた。続けていくことで健康や体力への関心に繋がっていると思う。<u>→全校体育・身体みがき体操の継続</u></li> </ul>   |
| ①各教科における表現活動の充実 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・自分の考えを全体の前だけでなく、小グループで伝え合えるように声をかけてきた。</li> <li>・考えを話すのか、文章に書くのか課題に応じて使い分けた。</li> <li>・図工の時間には、周りの目を気にせずに、自分の思うことを表現できる子が多いと感じる。</li> </ul>   |
| ②道徳教育・人権教育の充実   | <ul style="list-style-type: none"> <li>▲やや不十分の回答が多かった。</li> <li>・授業の時には考えられても、生活とつなげて自らをふりかえることができない子がいる。</li> <li>・多様性を認める指導をしていく。先を見通したマネジメントを行っていく。</li> <li>・トラブルがあった時の児童同士の注意の仕方を指導していきたい。</li> <li>・人権に関わる問題には速やかに対応し、その重さを子どもたちが感じられるようにする。</li> </ul> |
| ③特別活動の充実        | <ul style="list-style-type: none"> <li>・振り返りを次の時間につなげられるような実践の積み重ねを行う。</li> <li>・全校行事では、全校あげてのムードづくりも重要</li> </ul>  |
| ④読む活動の充実        | <ul style="list-style-type: none"> <li>・学級の係に「読み聞かせ係」ができ、友だちの読み聞かせが聞けるのがよかった。</li> <li>・朝読書の時間前に読書が始められるようになってきた児童もでできた。</li> <li>⇒<u>朝読書の取り組みの効果がでてきている。児童のアンケートからも読書ができるようになってきたことがわかる。朝読書の継続。家庭での読書にどのように繋げていくか。</u></li> </ul>                            |

|                  |   |
|------------------|---|
| ⑤授業の充実           | <ul style="list-style-type: none"> <li>・課題に対して話し合う活動を必ず取り入れるようにしている。さらに続けたい。</li> <li>・対話的な学習を多く仕組んでいきたい。<u>対話的な学習を取り入れることで考えざるを得ない状況</u>となり、児童全員が考えるという状況になる。</li> </ul>   |
| ⑥家庭学習の充実         | <ul style="list-style-type: none"> <li>・全員提出することができているので定着がされてきた。</li> <li>・時には自主学習もよいが、「子どもたちに今何を定着させたいのか」「次の単元の素地力を向上させておくためのプリント」など担任が考えた内容の家庭学習に取り組ませた方が効果的であると思う。</li> <li>・提出の現状を知らせ、保護者に協力を得た。</li> </ul> <p>⇒<u>保護者の理解、協力が不可欠。家庭学習について懇談会やお便り等で説明し、理解を得ていく。</u></p>                       |
| ⑦基本的な生活習慣の充実     | <ul style="list-style-type: none"> <li>・あいさつのできない子がとても多いと感じる。どうやって習慣づけるのがよいのか、指導になやんでいる。</li> <li>・生活や授業でのルールについて全体指導、個別に指導も行った。</li> <li>・友だちの呼び方「～さん」で統一していくことで、児童会のミッションも取り組めたのがよかった。</li> </ul> <p>⇒<u>一過性の指導でなく、日常的に繰り返し指導していく。</u></p>  |
| ⑧自他を大切にすゝる気持ちの醸成 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・クラスではよくなってきたが、全校への指導が難しい。</li> <li>・あそぼう会や落ち葉ひろいミッションなどペア学級との活動の中で、高学年は低学年に寄り添う気持ちを自然と持つことができた。ペア学級との交流をもっと増やせると良い。</li> </ul> <p>⇒<u>他学年との交流の機会を増やしたい。</u></p>   |
| ⑨地域に根ざした学習の充実    | <ul style="list-style-type: none"> <li>・地域の人と関わりながら学習できた</li> <li>・地域の方にお世話になりながら総合的な学習の時間を進められたが、なかなか続かない。</li> </ul> <p>⇒<u>見学や学習支援でお世話になった地域の方を人材バンクとして蓄積し、生かせるようにしていく。(総合的な学習の係で作成)また、今年度、コミュニティールームが開設されたので、地域の方と児童の関わりが増えた。</u></p>   |
| ⑩情報の発信と連携        | <ul style="list-style-type: none"> <li>・お便り、テトルを使って保護者と連携できた。</li> </ul>  |
| その他              | <ul style="list-style-type: none"> <li>・自ら考えること、友と関わり合うことをもう少しできるようにさせたい。</li> <li>・お互いに聞き合ったり、認め合ったりする姿がよく見られる。さらによい人間関係づくりのため思ったことを素直に伝えたり、友だちの意見を取り入れようとしたりする姿を目指して、必要なことを伝えていきたい。</li> <li>・自分の意見を持てた子、持てなかった子といる中で、友だちと話したり友だちの考えを聞く中で自分の考えを見つけて行けるようになった子は増えてきたが、クラス全員まではいっていない。</li> </ul> |